

# きんぱく

今号のテーマ まつり



夏だ！まつりだ！  
金沢がアツい。

長雨が開いたら夏も本番。  
これから秋までは祭りの季節が続く。  
能登に多い勇壮な祭り、加賀では厳かな祭り、  
金沢周辺の祭りに欠かせない獅子舞と、  
地域ごとに特色がある。  
12号は、県内各地で催される多彩な祭りと  
金箔の関係を解きほぐす。





## 金箔のまちのまつり事情

### 金沢周辺で古くから伝わる独特な獅子舞

ピーヒャラ、ドンドン。ヤー、ハーッ。トーザイトーザイ……。祭りには音がある。何十年、何百年前から奏でられてきた音を聞けば、血がたぎり、独特の熱が呼び覚まされるという人も多はず。

金沢周辺の祭りといえば、獅子舞がつきものだ。このあたりで獅子舞がいつ頃始まったかは定かではないが、前田利家が金沢城に入城する際には祝いの獅子舞を献上したという記録が残っていることから、一向一揆衆が加賀の国を治めていた時代には既にあったとされている。

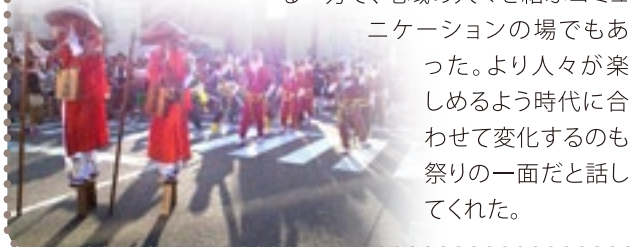
### 約800年続く神様が“里帰り”するまつり

金沢市内では珍しい獅子舞がメインではない祭りが、1300年の歴史を誇る大野湊神社の夏季大祭だ。この神社は約800年前に火災で社殿を焼失・移転しており、祭りの中心は、元の社地へ神様が里帰りする神輿とぎよの渡御だ。昔の境内は砂浜の浸食で海の底になっているというが、近くに祭礼の間だけ使われる仮殿が建てられている。2基の神輿に曳山、奴行列などさまざまな民俗芸能が供奉するこの祭りは、金沢市指定の文化財にもなっている。



©大野湊神社

民俗芸能は、800年の歴史の中で次第に催されるようになったそうで、河崎正幸宮司いわく「神様のお渡りは神事だが、悪魔払いなどは江戸後期になってから取り入れられたもので、当時の人気の催しだったようだ」。祭りは神事である一方で、地域の人々を結ぶコミュニケーションの場でもあった。より人々が楽しめるよう時代に合わせて変化するのも祭りの一面だと話してくれた。



金沢の獅子舞には大きな特徴がある。巨大な獅子頭、ボタンや獣毛が描かれた大きなカヤ、棒振りと呼ばれる演舞者が獅子を打ちすえることなど、どれもが地域色の濃いものとなっている。

そもそも祭りとは、豊穡を祈り、感謝する儀式として始まったもので、地域や宗教的信仰がその根底にある。土地神をまつり、祈りを捧げる神事が祭りの本来の姿だ。福を招き魔を祓う聖獣として考えられていた獅子は、土地神の使いだったのかもしれない。四方ににらみを利かせ、一鳴きで魔を祓う獅子は、まちの大切な守りだったのだろう。

金沢の獅子舞は、なぜかこの聖獣を打ちすえる「獅子殺し」が主流になっている。これは、加賀藩が外様の大大名だったことに関係するようだ。祭りの稽古にかこつけて、町民から農民までが武芸を鍛え、いざというときに備えたというのが現代の解釈の主流となっている。そのため、金沢市内でも本多町や長町など武家町内には獅子舞はないのだとか。

祭りでは打ちすえられてしまう獅子だが、一方では守りの神の化身として、魔を祓い除ける縁起物として、床の間や玄関に飾られるようにもなっていく。男児の誕生や家の新築、結婚の祝い、立身出世の象徴として贈答されるようになると工芸品としても発達した。工芸品の獅子頭には、箔工芸をは



巨大な獅子頭(夫婦獅子)  
©パーク獅子吼/獅子ワールド館

じめさまざまな伝統工芸の技が盛り込まれるようになった。金箔貼りの華やかな獅子頭もこうした中で作られたのだろう。

## まつりに華を添える金箔

### 共に歴史を刻んできた箔打ちに感謝するまつりも

箔にまつわる祭りとして、毎年8月9日に東山の宇多須神社で箔打ちが奉納される。始まったのは近年になってからだが、金沢の代名詞ともいえる金箔業界の繁栄と安全を願い神に祈願する思いは長い歴史を刻んできた祭りと同じだ。

石川県内で、ひときわ箔の華やかさが取り入れられているのが小松市で催されている「お旅まつり」だ。お旅まつりは菟橋神社と本折日吉神社の春季祭礼



宇多須神社・金箔の奉納



金箔オブジェ「かぐやの舞台」

金箔博士のウンチク講座

## 科学的に安定し、人体にも含まれる金は、 本当に食べられるのか!?

ニュースレター11号のアンケートの要望欄に、「食用金箔について知りたい」とか、「金箔は食べても害にならないの?」といった質問が複数見られました。そこで今回は、「金箔は食べられるの?」という疑問にお答えします。

正月やおめでたい時に金箔入りの日本酒が売られています。また、ケーキの上に振りかけてある商品もあります。それを飲んだり食べたりした経験は私にもよくあります。

外国では、食用金箔の名称で売られています。組成を見るとほぼ純金です。国内の場合、純金に近いものと、銀と銅を少量含むものなどがあるようです。

ところで人間の体内には、もともと多種類の金属が含まれています。鉄、亜鉛などはサプリメントとしても商品になって売られていますのでよくご存じでしょう。

さて金や銀や銅はどうでしょうか?

まず銅についてみましょう。銅イオンは人間にとって必須の元素であり、鉄、亜鉛に次いで多い元素です。具体的な数値でいえば、たとえば体重70kgの私の体には約100mgの銅が脳、肝臓、血液などに含まれています。この元素が欠乏すると、貧血、骨や動脈異常、脳障害を起こします。銅には、血管を正常に保つ働きがあるのです。

銀も同様に体内に微量含まれており、日常の食事からも摂取されています。銀はそれ自身、または化合物が殺菌剤として使われることはよく知られています。

残る金はどうでしょうか? 哺乳類では金は必須の元素ではありませんが、人間の肺、髪、血液に極微量含まれています。金は非常に安定な元素ですから、摂取しても胃や腸で分解・吸収されることはありませんので、これらの消化管を素通りして便として排出されます。

以上のことから、金箔入りの日本酒や、金箔を振りかけた食品などを少しだけ食べたり飲んだりしても、私たちの身体、つまり生理学的にみて悪さをする事が無いと言っても差し支えないでしょう。

(所長 北川和夫)



で、加賀藩3代藩主前田利常にルーツを持つ。このお旅まつりに欠かせない高樓式の曳山の装飾に金箔が使われているのだ。

お旅まつり

現在8基が残る曳山はどれも江戸中期に作られたもので、幾度も手を入れ修理をして大切に伝えられている。時代を下り修理を重ねるほど、次第に華やかさを増し金箔が用いられるようになったのだとか。

この曳山の上で演じられる子供歌舞伎は全国でも有数の子供歌舞伎として名高いが、歌舞伎の迫力にも負けない絢爛豪華な曳山も祭りの見所のひとつとなっている。

もうひとつ、金沢の祭りとして欠かせないのが「百万石まつり」。箔打ちをはじめとした金沢・石川の伝統工芸の礎を築いた前田利家ゆかりの祭りである。

藩政時代には幕府の独占下にあった金・金箔も、現代に近づくにつれて祭りというハレの日を祝うアイテムのひとつとして広く取り入れられるようになっていったのだろう。



百万石まつり

## 小さな漁師町に、 額に梅鉢紋をいただく喧嘩獅子

内灘町宮坂の黒船神社の夏祭りが面白い。

祭りは金沢同様に獅子舞がメイン。白と黒の2基の獅子が町中を練り歩き、一軒一軒の厄を払っていく勇壮で神聖な儀式だ。獅子を棒振りが打ち伏すのも金沢の獅子と同じ。

黒船神社の白獅子が額に梅鉢紋をいただいているのは、かつてこの神社が前田家の崇敬を受けていたからで、江戸時代には黒船神社に河北38か村の獅子が集められ、次々に神社に舞いを捧げたのだという。



当然、一番獅子は額に梅鉢をいただく黒船神社の獅子だ。

この神社の祭りの大きな特徴は、神社境内で獅子と獅子、獅子と神輿が激しくぶつかり合うこと。古参に聞くと、このぶつかり合い自体は神事ではないものの、漁師町の血気にはやる男衆の意気の表れで、今では祭りの風物詩となっている。他では見られない様子だけに、これを楽しみに里帰りする人も多いそうだ。

◎黒船神社



金箔を知らずして金沢は語れません。身近にありながらも意外と知られていない金箔のあんなことこんなこと。問題に答えて、プレゼントをゲット!

**問1** 断切金箔の打ち紙は( )である。

- 1. 和紙
- 2. グラシン紙
- 3. 牛革
- 4. ダンボール

**問2** 縁付金箔は2014年に( )の選定保存技術に認定された。

- 1. 町
- 2. 郡
- 3. 県
- 4. 国

**問3** 打ち終えた縁付金箔を規定サイズに切る工程を( )という。

- 1. 口うつし
- 2. 箔おとし
- 3. 箔うつし
- 4. 箔切り

**問4** 箔を打った紙の再利用から生まれたのが化粧用和紙の( )である。

- 1. 虫とり紙
- 2. しりとり紙
- 3. 化粧おとし紙
- 4. あぶらとり紙

**問5** 箔の日(8月9日)に、宇多須神社で行われるのは奉納( )である。

- 1. 相撲
- 2. 玉串
- 3. 箔打ち
- 4. 歌舞伎

**問6** 金箔をテーマとした日本で唯一の工芸館は( )である。

- 1. 日本工芸館
- 2. 安江金箔工芸館
- 3. 卯辰山工芸工房
- 4. 石川県伝統産業工芸館

第二回 金箔《初級②》検定の解答は弊所ホームページにて2015年11月初旬に掲載いたします。

郵便はがき

9 2 0 0 8 3 1

切手をお貼りください。

石川県金沢市東山1-3-10  
金沢市立安江金箔工芸館3F

金沢箔技術振興研究所  
金箔検定(vol.12)係行

## 素敵な金箔商品をプレゼント

上記の金箔検定の解答と下記のアンケートを、左記のハガキにご記入の上、ご応募ください。正解率の高い方から10名様に素敵な金箔商品をプレゼントします(同点の場合は抽選)。

**応募締切**

2015年10月末日(消印有効)

※当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

## § アンケート §

アンケートにご協力をお願いします。お寄せ頂きました結果をもとに紙面作成を行って参ります。ご回答は左記のハガキにご記入の上、郵送または下記番号へFAXしてください。

**Q1** ご年齢は?

- 1. 10代
- 2. 20代
- 3. 30代
- 4. 40代
- 5. 50代以上

**Q2** きんぱーくをどこで手に入れましたか?

- 1. 図書館
- 2. 文化施設
- 3. 市や町の出先機関
- 4. その他

**Q3** 今号のテーマ「まつり」はいかがでしたか?

- 1. 良かった
- 2. まあまあ良かった
- 3. 普通
- 4. つまらない

**Q4** 金箔に関する事で取り上げて欲しいことがありましたらお書きください。

**FAX送信先: 076-225-8942 金沢箔技術振興研究所**

FAX番号はお間違えないようお送りください。

### 金箔《初級②》検定解答欄

解答欄	問1	問2	問3	問4	問5	問6

アンケート回答欄	Q1	Q2	Q3	Q4

商品発送先 住所 〒

お名前

お電話

※プライバシー情報は、商品の発送のみに使用します。

金沢箔技術振興研究所

News Letter きんぱーく

News Letter きんぱーく Vol.12

発行日/2015年7月

発行/金沢箔技術振興研究所

〒920-0831 石川県金沢市東山1-3-10

金沢市立安江金箔工芸館3F

tel. 076-225-8941 fax. 076-225-8942

e-mail kanazawa-haku@wind.ocn.ne.jp

金沢箔技研

検索

ホームページ  
http://www.kanazawahaku-giken.jp



※文中、クレジットのない画像は、金沢市・金沢箔技術振興研究所が著作権を所有しています。